

# 平成27年度計画

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構

# 1 診療計画及び診療に関する重点事項等

## (1) 診療計画

### ①日本海総合病院

- ・地域医療支援病院として、安全で高度かつ専門的な急性期医療を提供する。
- ・他の医療機関と連携して、住民が安心できる地域の医療提供体制を構築する。
- ・庄内地域で唯一の救命救急センターとして、高度な救急医療を提供する。
- ・地域がん診療連携拠点病院として、充実したがん治療を提供する。
- ・災害拠点病院として、被災地域の患者の受入れ、及び医療スタッフの派遣等の医療救護活動を行う。
- ・へき地医療拠点病院として、へき地の住民に対する医療提供及びその支援等へき地医療活動を行う。
- ・エイズ治療拠点病院として、総合的かつ高度なエイズ治療を提供する。

### ②酒田医療センター

- ・状態が安定し、長期にわたり療養を必要とする患者に医療を提供し、急性期医療の後方支援及び在宅療養支援を行う。
- ・ADLの向上や在宅復帰のため、集中的にリハビリテーションを行う回復期医療を提供する。
- ・患者が可能な限り自宅で自立した生活ができるよう、日常生活上の支援や生活機能向上のための訓練を行う通所リハビリテーションを提供する。

## (2) 診療に関する重点事項

### ①診療体制の整備

#### a) 救急医療(日本海総合病院)

- ・救命救急センターの充実を図るため、救急科専門医を育成する。
- ・酒田地区広域行政組合の酒田救急ワークステーションとの連携強化を図るとともに、ドクターカーの配備について検討を行う。
- ・一般社団法人酒田地区医師会十全堂（以下、「酒田地区医師会」という。）の協力を得て、平日夜間の成人・小児に対する診療体制を、酒田市の財政支援のもと維持する。

関連指標（延べ患者数）

	小 児 科	そ の 他
平成24年度	7 4 3 人	1, 7 1 5 人
平成25年度	6 3 9 人	1, 5 8 2 人

#### b) がん医療(日本海総合病院)

- ・地域がん診療連携拠点病院としての機能充実を図るため、「がん患者リハビリテーション」の導入を検討する。

- ・PET/CTによるがん治療の強化、早期発見のための検診を拡充する。
- ・手術、放射線療法及び化学療法を効果的に組み合わせた治療の実施

関連指標（延べ実施件数）

	手術	放射線療法	外来化学療法
平成24年度	1, 123件	7, 793件	3, 092件
平成25年度	1, 117件	7, 928件	4, 922件

- ・緩和ケア医療の充実
- ・緩和ケア病棟について、要件等の確認及び検討を行う。

関連指標（延べ患者数）

	病棟回診	緩和ケア外来
平成24年度	367人	105人
平成25年度	449人	168人

- ・セカンドオピニオン外来の充実

関連指標（実施件数）

	がん	その他
平成24年度	3件	1件
平成25年度	10件	1件

- ・がん登録機能、相談支援体制の充実

関連指標（登録及び実施件数）

	院内がん登録	地域がん登録	がん相談
平成24年度	1, 684件	1, 653件	818件
平成25年度	1, 705件	1, 680件	1, 204件

### c) 脳卒中・急性心筋梗塞

- ・救命救急センターと関係する各診療科、リハビリテーション部門との連携強化を図り、患者の社会復帰に寄与する。
- ・CT、MRI検査の24時間対応の継続

関連指標（脳梗塞、くも膜下出血、脳動脈瘤、脳内出血での実施件数）

	CT	MRI
平成24年度	1, 015件	819件
平成25年度	934件	929件

関連指標（心筋梗塞、狭心症での実施件数）

	CT	MRI
平成24年度	255件	40件
平成25年度	265件	31件

- ・日本海総合病院における急性期リハビリテーションの充実及び酒田医療センターにおける回復期リハビリテーションとの連携強化を図る。
- ・日本海総合病院において、心大血管リハビリテーションを休日も実施する。

**d) 糖尿病(日本海総合病院)**

- ・チーム医療による食事療法、運動療法、薬物療法等を組み合わせた集中的治療の充実を図る。

関連指標（指導等の実施件数）

	教育入院	個別栄養指導		糖尿病透析予防指導管理料
		入院	外来	
平成24年度	83件	239件	336件	3件
平成25年度	52件	252件	327件	55件

**e) 回復期リハビリテーション(酒田医療センター)**

- ・回復期リハビリテーションの充実のため、理学療法士等を増員する。
- ・早期の在宅復帰を図るため、休日もリハビリテーションを提供する体制を構築する。
- ・外来及び通所リハビリテーションの実施

関連指標（リハビリテーション実施状況）

	外来リハビリテーション		通所リハビリテーション	
	実患者数	回数(単位)	実患者数	回数(単位)
平成24年度	9人	299回		
平成25年度	18人	498回	20人	1,040回

**f) 在宅医療支援及び療養支援**

- ・地域の介護機関、福祉機関、医療機関との連携を強化するため、相談窓口機能の充実を図る。

関連指標（退院調整実施件数）

	日本海総合病院	酒田医療センター
平成24年度	1,906件	289件
平成25年度	1,931件	330件

- ・急性増悪による入院の受入れなど、在宅患者及び介護・福祉機関の患者に対してかかりつけ医と連携して医療支援を行う。
- ・酒田地区医師会訪問看護ステーション「スワン」及び在宅医療・介護連携支援室「ポンテ」との連携強化を図る。

**g) その他**

- ・両病院間の患者移動における利便性確保のため、シャトルバス「げんき号」を運

行する。

## ②災害時や健康危機における医療協力（日本海総合病院）

- ・災害発生時には、災害拠点病院として患者を受け入れるとともに、県の要請に基づき、又は自ら必要と認めたときは、DMAT（災害派遣医療チーム）等、医療スタッフを現地に派遣して医療救護活動を行う。
- ・地域が被災した場合に備え、酒田市が実施する「酒田市総合防災訓練」に参加する。
- ・山形県が実施する、庄内空港をSCU（航空搬送拠点臨時医療施設）としての機能整備において、医療機器の保管管理及び医療救護活動等に協力する。
- ・災害が発生した場合に備え、マニュアルを整備するとともに、災害対応実働訓練を実施する。
- ・地域の医療従事者を対象とした災害医療研修を実施する。
- ・災害対応に必要な物品等を備蓄する。
- ・非常用発電機の燃料や医薬品等の優先納入体制を維持する。
- ・新型インフルエンザをはじめ新たな感染症が発生したときは、山形県と連携して対応する。

## ③政策医療の実施（日本海総合病院）

- ・第二種感染症指定医療機関として、院内感染対策マニュアルの見直しを定期的に行い、適切かつ速やかな感染症患者の受け入れに努める。
- ・認知症疾患医療センターを運営し、認知症疾患患者の専門医療相談、鑑別診断等について継続して実施していく。

関連指標（相談件数）

	新規	継続
平成24年度	789件	286件
平成25年度	733件	416件

- ・臓器移植について、提供施設として訓練を行う。
- ・小児医療について、第6次山形県保健医療計画に基づき、一般小児医療から小児専門医療まで、及び初期小児救急から入院を要する小児救急を行う「地域小児医療センター」としての役割を果たしていく。
- ・周産期医療について、第6次山形県保健医療計画に基づき、周産期に係る比較的高度な「二次周産期医療」を行う。

## ④医療スタッフの確保及び資質向上

### a) 医療人材の確保・育成

- ・山形大学との臨床実習協定によりスチューデントドクターを受け入れ、医学生の教育及び医師育成の一翼を担う。
- ・臨床研修医及びレジデント（専門分野の研修医をいう。）の受け入れ拡大に努め、教育研修体制の充実を図る。
- ・地方独立行政法人那覇市立病院（臨床研修医3名）と日本海総合病院（2年次の臨床研修医6名）との間で、臨床研修医を相互に受け入れる交換地域医療研修を実施する。

- ・医師以外の医療スタッフを育成するため、専門学校等の要請に基づき実習生を受け入れる。
- ・医師以外の医療スタッフについて、各種研修会及び学会等に参加し、専門的知識と技術の習得に努める。
- ・認定看護師の資格を取得するため、看護師を研修に派遣する。
- ・DMA T隊員の育成を図る。
- ・多職種が協働し、効率的に良質な医療サービスを提供するため、栄養サポートチーム、緩和ケアチーム、人工呼吸サポートチーム、院内感染対策チーム及び褥瘡対策チームによる「チーム医療」を推進する。
- ・看護学生等の申請により修学資金を貸与し、優秀な看護師又は助産師の育成に寄与する。

### b) 事務職員の確保と専門性の向上

- ・事務職員研修計画を策定し法人内研修の充実を図るとともに、他病院との合同研修会及び交流を通して、人材育成と専門性の向上を図る。
- ・医師事務作業補助者の資質向上を図る。

## ⑤医療サービスの効果的な提供

### a) 地域連携の推進

- ・日本海総合病院は、庄内地域の中核的な医療機関及び地域医療支援病院としての役割を果たし、紹介率50%以上、逆紹介率70%以上を目標とし、他の医療機関との役割分担及び連携の強化を図る。

関連指標（「地域医療支援病院」指定時の紹介率、逆紹介率）

	紹介率	逆紹介率
平成24年度	61.5%	45.2%
平成25年度	62.2%	47.2%

- ・地域包括支援センターや地域の介護・福祉機関との連携を強化し、介護・福祉機関との積極的な情報交換や、退院時カンファレンスの取組みの強化等により、医療から介護・福祉へと切れ目のないサービスの提供に努める。

関連指標（指導件数）

	退院時共同指導		介護支援連携指導	
	日本海総合病院	酒田医療センター	日本海総合病院	酒田医療センター
平成24年度	57件	0件	660件	38件
平成25年度	53件	0件	775件	32件

### b) ICTネットワークの活用

- ・「ちょうかいネット」の活用を推進し、利用医療機関等の拡大を図る。

関連指標（施設及び患者登録数）

	登録施設数	登録患者数
平成24年度	92施設	6,669人
平成25年度	109施設	11,335人

### c) 地域連携クリティカルパスの活用

- ・大腿骨頸部骨折、5大がん、前立腺がん及び脳卒中の地域連携クリティカルパスの適用件数増加を図る。

関連指標（適用件数）

	大腿骨	肺がん	大腸がん	肝がん	乳がん	胃がん	脳卒中
平成24年度	105件	0件	13件	0件	24件	9件	92件
平成25年度	118件	0件	19件	0件	18件	27件	290件

### ⑥庄内地域における医療水準の向上

- ・庄内地域の他の医療機関と交流を行い、連携強化を図る。
- ・平成23年度から日本海総合病院内に開設された山形大学医学部先端分子疫学研究所酒田分室について、調査活動に協力する。
- ・日本海総合病院は、酒田市立看護専門学校の実習施設としての役割を担う。
- ・酒田市立看護専門学校の看護教員を育成する。
- ・地域の医療・介護従事者を含めた、各種研修会等を開催する。

### ⑦住民の意識の啓発

- ・地域住民を対象としたセミナー、病院広報紙などの発行を積極的に行い、住民の医療や健康に対する意識の啓発に努める。
- ・他の機関が行う地域の医療従事者や住民に対するセミナー等への講師派遣についても積極的に行う。

### (3) 患者・住民サービスの一層の向上

- ・日本海総合病院において、外来診療の待ち時間対策を検討する。
- ・患者、利用者の意見・要望等を聞く投書箱を常設し、一層のサービス向上と業務改善に取組み、患者または住民本位のサービスの提供に努める。
- ・ホームページの充実による病院情報の発信力の強化を図る。
- ・日本海総合病院において、一部の外来診察室ドアを引戸へ改修し、及び待合ホールの床を補修する。
- ・重症心身障がい児（者）短期入所事業について、日本海総合病院の空床を利用し継続して実施する。

関連指標（延べ利用者数）

平成24年度	28人
平成25年度	14人

- ・酒田市からの受託事業である病児・病後児保育事業を、日本海総合病院院内保育所「あきほ保育園」（以下、「あきほ保育園」という。）において実施するとともに、酒田市と遊佐町、庄内町及び三川町との「庄内北部定住自立圏形成協定」に基づき、酒田市以外の乳幼児等も受け入れる。
- ・親しみと信頼のある地域密着型の病院づくりを目指し、地域交流事業として病院祭「あきほ祭り」及び展示即売「あきほ市」を開催する。

#### (4) 法令等の遵守と情報公開の推進

- ・ 基本理念、倫理綱領及び病院運営方針の周知を図る。
- ・ 医療情報のセキュリティ向上のため職員、委託職員を対象に院内研修を実施する。また、「ちょうかいネット」を利用している医療機関等に対しても研修を実施する。
- ・ インフォームド・コンセントを徹底するほか、カルテ・レセプト等医療情報の開示については、山形県情報公開条例及び個人情報保護条例の適用のもとに、県の機関に準じて行う。

関連指標（医療情報の開示件数）

	日本海総合病院	酒田医療センター
平成24年度	49件	7件
平成25年度	70件	2件

#### (5) 医療安全対策の充実・強化

- ・ インシデントレポートの収集、分析及びリスク回避の方策について検討し、院内研修会や定期的な院内広報の発行などにより周知し、患者安全管理体制の推進・強化に努める。

## 2 人員配置の弾力的運用

### (1) 負担軽減

- ・ 医師の負担軽減を図るため、医師事務作業補助者を活用する。
- ・ 看護師の負担軽減を図るため、看護補助者及び事務補助者を活用する。
- ・ 病棟看護師について、新たな交代制勤務の施行について検討する。

### (2) 障がい者雇用

- ・ 障害者雇用促進法に基づき、雇用率2.3%以上の確保に努め、障がい者の雇用促進及び職業安定に寄与し、その有効活用を行う。



### 3 施設整備及び医療機器等の整備計画

(単位：百万円)

区 分	予 定 額	財 源
資本支出		設立団体からの
建設改良費	704	長期借入金等
医療機器整備	568	
その他（改修工事等）	136	

#### (1) 高度医療機器等の計画的な更新・整備

- ・高度専門医療等の充実のため、次のとおり高度医療機器の更新・整備を行う。
- ・高度医療機器の更新・整備に当たっては、医療需要、医療技術の進展などを総合的に判断して進めるものとする。

<平成27年度の医療機器整備費>

(単位：百万円)

病 院 名	事業費	医療機器の名称（財源）
日本海総合病院	300	循環器系X線診断装置、デジタルX線TVシステム（長期借入金）
	251	その他更新機器等（長期借入金等）
酒田医療センター	17	薬剤管理指導支援システム 他
合 計	568	

#### (2) 建物総合診断

- ・日本海総合病院は、建物総合診断の結果を踏まえて、修繕計画を検討する。

### 4 患者数の見込みと予算・収支計画・資金計画

#### (1) 患者数の見込み（当初予算ベースでの比較）

(単位：床、人、%)

		平成27年度			平成26年度		
		日本海	酒 田	合 計	日本海	酒 田	合 計
入院	病 床 数	※ 630	114	744	646	114	760
	1日当たり	502.1	102.6	604.7	528.2	99.8	628.0
	病床利用率	79.7	90.0	---	81.8	87.6	---
外来	1日当たり	1,363.7	3.3	1,367.0	1,373.2	3.5	1,376.7

※許可病床数は、646床である。

(2) 予 算 (平成27年度)

(単位：百万円)

区分	日本海	酒田	合計
収 入	19,602	1,170	20,772
営業収益	16,769	993	17,762
医業収益	16,181	976	17,157
運営費負担金	588	17	605
営業外収益	1,000	95	1,095
運営費負担金等	839	85	924
その他	161	10	171
臨時利益	2	0	2
資本収入	1,831	82	1,913
運営費負担金	1,168	67	1,235
長期借入金	663	15	678
支 出	18,734	1,202	19,936
営業費用	15,724	1,063	16,787
医業費用	15,527	1,063	16,590
給与費	8,268	719	8,987
材料費	4,427	30	4,457
経費	2,724	307	3,031
研究研修費	108	7	115
一般管理費	197	-	197
営業外費用	345	16	361
臨時損失	0	0	0
資本支出	2,665	123	2,788
建設改良費	687	17	704
長期借入金返還金	1,972	106	2,078
奨学金貸付	5	-	5
その他	1	0	1

(注1) 建設改良費及び長期借入金等元金償還金に充当される運営費負担金等については、資本助成のための運営費負担金等とする。(以下、同じ)

### (3) 収支計画 (平成27年度)

(単位：百万円)

区分	日本海	酒田	合計
収 入	17,737	1,087	18,824
営業収益	16,743	993	17,736
医業収益	16,150	975	17,125
運営費負担金収益	588	17	605
資産見返運営費負担金戻入	5	1	6
営業外収益	992	94	1,086
運営費負担金収益	839	85	924
その他医業収益	153	9	162
臨時利益	2	0	2
支 出	17,592	1,197	18,789
営業費用	16,707	1,156	17,863
医業費用	16,523	1,156	17,679
一般管理費	184	-	184
営業外費用	875	40	915
臨時損失	10	1	11
純 利 益	145	△ 110	35

#### (4) 資金計画（平成27年度）

（単位：百万円）

区分	日本海	酒田	合計
資金収入	35,139	2,508	37,647
業務活動による収入	17,807	1,088	18,895
診療業務による収入	16,181	977	17,158
運営費負担金による収入	1,427	102	1,529
補助金等収入	38	0	38
その他の業務活動による収入	161	9	170
投資活動による収入	12,525	1,000	13,525
補助金等収入	25	0	25
有価証券の売却による収入	12,500	1,000	13,500
財務活動による収入	1,831	82	1,913
長期借入による収入	663	15	678
金銭出資の受入による収入	1,168	67	1,235
前年度からの繰越金	2,976	338	3,314
資金支出	31,230	2,232	33,462
業務活動による支出	16,061	1,109	17,170
人件費支出	8,334	719	9,053
材料費支出	4,427	30	4,457
その他の業務活動による支出	3,300	360	3,660
投資活動による支出	13,192	1,017	14,209
有形固定資産の取得による支出	687	17	704
有価証券の取得による支出	12,500	1,000	13,500
奨学金の貸付による支出	5	-	5
財務活動による支出	1,977	106	2,083
長期借入の返済による支出	844	21	865
移行前地方債償還債務等の償還による支出	1,128	85	1,213
その他の財務活動による支出	5	0	5
翌年度への繰越金	3,909	276	4,185

## 5 その他業務運営に関する事項

### (1) 就労環境の整備

- ・「あきほ保育園」は、通年で24時間保育を行う。
- ・「あきほ保育園」は病児・病後児保育を実施し、職員の子育て支援を行う。

### (2) 人間ドック・検診における連携

- ・公益財団法人やまがた健康推進機構と連携し、日本海総合病院において「内視鏡ドック（PET検診含む）」を行う。
- ・酒田地区医師会と連携し、地域の検診体制の強化を図る。
- ・酒田市にふるさと納税をされた方への特典として、日本海総合病院の人間ドックを提供することについて、酒田市と協議を行う。

### (3) 地球環境にやさしい病院づくり

- ・日本海総合病院において、既存棟の外来診察室及び待合ホールの蛍光灯をLED照明に交換する。

### (4) 酒田市飛島診療所への支援

- ・日本海総合病院は、酒田市が医師を確保するまでの間、4～10月において医師を週1回派遣し出張診療を行う。また、救急患者の対応等の支援を行う。

### (5) その他

- ・第二期中期計画の最終年度にあたり、次期中期計画については、将来の医療提供体制を見据えて、設立団体と協議を行いながら策定する。
- ・平成19年に策定された基本構想等について、山形県の地域医療構想策定作業の動向や地域医療の状況を踏まえ、必要に応じて再検討する。
- ・「全国地方独立行政法人病院協議会」の第4回総会を酒田市で開催し、全国の会員病院と情報交換等を行うとともに連携を図る。